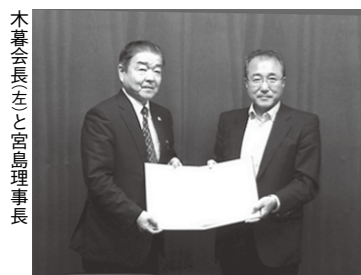


**9月25日**  
**交流を通してそれぞれの観光振興を  
 摩周湖観光協会が中野区観光協会と連携協定締結**



木暮会長と宮島理事長が協定書を交わしました。  
 一般社団法人摩周湖観光協会(木暮敏男会長)と同中野区観光協会(宮島茂明理事長)が連携協定を締結しました。協定調印式は9月25日、東京都の中野区商工会館で行われ、木暮会長と宮島理事長が協定書を交わしました。  
 摩周湖観光協会では、今年度の重点事業に首都圏観光団体との連携強化を挙げていて、かねてから交流のあった中野区観光協会との連携協定締結に至ったもの。中野区が持つ集客力・購買力と、本町の恵まれた大自然・特産品を結び付け、観光面での相互発展を目指していきます。

**9月24日**  
**地域の安全・安心を守るため  
 川湯消防支署に新しいポンプ車を配備**



川湯消防団(濱岡正次団長)に配備されているポンプ車が更新され、9月24日に弟子屈消防署川湯支署で消防ポンプ車運用開始式が行われました。  
 これまでのポンプ車は1979年に配備されたもので、老朽化が進んだことから今回の更新となったものです。総排気量4,000ccで費用は3,300万円。毎分2,500リットルの放水が可能のほか、電子制御など最新の機材を搭載しています。濱岡団長は「地域の安全・安心を守るため、より一層訓練に励んでいきたい」と話していました。

**9月14日**  
**地震～火災発生を想定して  
 弟子屈高校で防災訓練**



弟子屈高校(木村浩士校長)で9月14日、避難訓練が行われました。訓練は、町内を震源とする大地震に続いて火災が発生したとの想定で実施。役場総務課情報防災係・弟子屈消防署の協力の下、教職員・生徒172人が参加し、火災報知機を鳴らす、保健室で静養していた模擬患者が避難できずに取り残される、松葉づえを使用している生徒を先生がおんぶして避難するなど、実際の訓練を行いました。訓練後の講評で木村校長は「地震、火災のほかに、火山噴火、雷、竜巻による被害もあり得る。どのように行動すべきかを普段から意識してほしい」と話しました。

**カメラスケッチ**  
**広報が行く!!**



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐごかけつけます。お気軽にご連絡ください。  
 まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

**9月26日**  
**屈斜路湖の魚について学ぶ  
 チームくっしゃろが4回目の講座開催**



チームくっしゃろ(斎藤敬子代表)主催のくっしゃろ講座第4回「魚たちが教えてくれること」が9月26日、和琴フィールドハウスと屈斜路湖で行われました。  
 チームくっしゃろは4月設立の地域活動団体で、地域の文化や自然などに理解を深めたいと、定期的に講座を開催しています。今回は屈斜路湖の魚がテーマ。参加者の皆さんは、斎藤代表や役場環境生活課環境係の川井田東吾係長、屈斜路湖フィッシングクラブの北林勉会長から屈斜路湖の魚や漁業の歴史、釣りのルールなどについて説明を受けました。その後、同クラブの皆さんの指導の下、釣りにも挑戦しました。

**9月26日**  
**楽しみながら消防の活動への理解深める  
 川湯消防開放日を開催**



弟子屈消防署川湯支署・川湯消防団による川湯消防開放日が9月26日に行われました。  
 消防の活動を多くの皆さんに知ってもらいたいと開催されたもので、昨年に引き続き2回目。はしご車の乗車体験や消防車両の展示、消防車からの放水体験、ロープ渡り体験などが行われました。また、縁日コーナー、消防のマスコット・消太くんと触れ合い、川湯ばやし保存会による太鼓や小学生によるダンスなどの披露も行われ、多くの来場者でにぎわいました。開放日は来年以降も継続される予定です。

**9月18日**  
**地域の皆さんに気持ちよく利用してほしい  
 弟子屈道路事務所管内安全連絡協議会が道路清掃**



弟子屈道路事務所管内安全連絡協議会(福岡功和会長)の皆さんが9月18日、道の駅摩周温泉近くの国道241号で道路清掃を行いました。  
 地域の皆さんに道路を気持ちよく利用してほしいと、社会貢献活動の一環として行ったもの。26人が参加し、ほうきなどを手に清掃を行いました。福岡会長は「普段、道路を造る仕事をしており、手がけた道路を快適に使ってほしいと思いい、清掃活動を行った。秋の全国交通安全運動も近く、きれいな道路で安全運転に心がけてほしい」と話していました。

**9月15日**  
**地域の方の協力でおいしくできました  
 和琴小で児童が育てたメロンを収穫**



和琴小学校(鳴海厚校長)で9月15日、児童が育てたメロンの収穫が行われました。  
 同校では学校活動の一環として、敷地内の農園でさまざまな野菜を育てています。メロンは、地域で摩周メロンを生産する金刺登さんの指導・協力の下、ビニールハウスで5月から育ててきたもの。直径20センチほどの実が11個あり、児童は歓声を上げながらも慎重に収穫していました。メロンは、後日行われた収穫祭でおいしくいただきました。

**9月28日**  
**自治会の役割やまちづくりなどについて意見交わす  
 道東ブロック町内会活動研究大会**



平成27年度道東ブロック町内会活動研究大会(北海道町内会連合会・北海道社会福祉協議会主催)が9月28・29の両日、川湯温泉で開催されました。  
 今年のテーマは「地域の絆づくりと安心・安全なまちづくり」。大会には釧路、根室、オホーツク管内から約280人が参加しました。北海道社会福祉協議会の藤田裕行事務局長の基調説明「道内の町内会・自治会の概要と役割・期待について」の後、日本赤十字北海道看護大学災害対策教育センターの根本昌宏教授が「住民の支え合い、安心して暮らせる地域づくり」と題して、冬季の災害と共助について講演。その後、参加者は3つの分科会に分かれて意見交換を行いました。

**9月27日**  
**町内外から愛好家が集まる  
 熱戦続きの摩周湖ばん馬大会**



第7回摩周湖ばん馬大会(摩周湖馬友の会主催)が9月27日、摩周輪馬場で開催されました。  
 ばん馬文化の継承と地域活性化を目的に毎年開催されています。今年も道内各地から約100頭が集まり、馬齢や重量別の階級に分かれて迫力のあるレースを繰り広げました。また、来場者が騎手になれるオーナーレースや、中学生以下のお子さんによるポニーレースも行われました。会場には、ポニーとのふれあいコーナー抽選会などのイベントも用意され、子どもも大人も楽しみました。

**9月19日**  
**長寿を祝いこれまでの地域貢献に感謝  
 藤原勝彦さんに100歳を記念して銀杯贈呈**



今年度100歳を迎える藤原勝彦さんに、内閣総理大臣からの祝い状と記念品が贈られました。  
 贈呈式は9月19日、グループホーム家路で行われ、徳永町長から藤原さんにお祝い状と記念品の銀杯が手渡されました。  
 国では、年度中に100歳を迎える方に対し、長寿を祝うとともに、これまで長く社会発展に寄与されてきたことへの感謝の意を込めて、祝い状と記念品を贈っています。今年度、町内では藤原さんだけが対象となっています。

**9月19日**  
**メキシコシティの孤児を養女にした後藤さんが講演  
 てしかが国際交流会主催のトークシリーズ**



てしかが国際交流会(池上清子会長)主催のトークシリーズが9月19日、川湯ふるさと館で開催されました。  
 同会が2011年から行う国際交流イベント「もっと外国を知ろう」プログラムの一環で、今回で18回目です。今回の話し手は、幕別在住の後藤真理子さん。30年ほど前、ご主人の赴任先・メキシコで、4歳だった孤児の女の子を養女にし、ご自分のお子さんとともに育ててきたという方です。全ての人の幸せと世界の平和を願う後藤さんの話に、参加者の皆さんは強く心を打たれていたようでした。



10月11日

### やさしさにあふれた温泉と福祉のまちを目指して ふれあい祭り2015を開催



第5回ふれあい祭り2015(同実行委員会主催)が10月11日、社会老人福祉センターで行われました。

本町のつなぎ工房はじめ釧根地区の障がい者就労支援施設や同支援団体が集い、障がいのあるなしに関わらず、地域の皆さんが共に楽しみ、触れ合う場づくりを目的に毎年開催しています。川湯ばやしや歌、バトントワリング、紙芝居などの披露のほか、バザーやハンドマッサージなどのコーナーが用意され、訪れた皆さんが思い思いに楽しんでいました。また、第5回を記念して、お汁粉が振る舞われました。

多くの人が集まった祭り

10月7日

### 農業の大切さを知ってほしい JA青年部が弟子屈小児童に食育授業



自分で掘ったジャガイモに歓声

JA摩周湖青年部(岡部隼人部長)の皆さんが10月7日、弟子屈小学校(佐野哲哉校長)の3年生に食育授業を行いました。

本町の基幹産業である農業について理解を深めてもらうとともに、好き嫌いのない子に育ててほしいと毎年開催しています。児童は同部員の説明の後、屈斜路の早勢敏さんの農場で紅丸というジャガイモ掘りに挑戦。ポテトハーベスターでの収穫の様子も見学しました。その後の質疑応答では、多くの児童から活発な質問が出されました。

9月28日

### 生態系を守ろう 自然公園財団川湯支部などが外来種駆除



根気よく外来種を駆除

環境省川湯自然保護官事務所や一般財団法人自然公園財団川湯支部などの皆さんが9月28日、摩周第1展望台と第3展望台を結ぶ道で外来種の駆除作業を行いました。

摩周湖を取り囲む外輪山の内側は特別保護地区に指定されています。今回、作業を行った場所は地区外ですが、このまま放置すると地区内へ外来種が侵入する恐れがあり、駆除が行われました。作業には、(株)今道東建設工業や川湯エコミュージアムセンターの皆さんも参加。総勢11人で、約3キロの間に繁茂しているアラゲハンゴンソウやヒメジョオン、コウリタンポポなどを根から抜き取りました。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させていただきます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

10月18日

### 矢野直美さんの講演から地域の足の活性化探る 鉄道の利活用推進シンポジウム



地域活性化に向けた鉄道の利活用推進シンポジウム(北海道運輸局主催)が10月18日、川湯温泉で開催されました。

地域の足である公共交通の活性化策を探る目的で開催されたもので、約120人が参加。国内外を旅しながら鉄道写真を撮り、エッセイなどを書くフォトライター・矢野直美さんによる基調講演「地域鉄道の魅力について」に、熱心に聴き入っていました。また「地域活性化に向けた鉄道の利活用について」をテーマに、トークセッションも行われました。

矢野さんの講演に聴き入る

10月12日

### ふるさとへの素晴らしさを再発見 秋の名木ツアーで紅葉を堪能



紅葉した名木に見入る参加者

2006年に町が指定した名木を巡るツアーが10月12日に開催されました。春に続いて、今年度2回目のツアーです。

根釧西部森林管理署との共催で、釧路市からの参加者も含め30人が参加しました。紅葉を中心に7カ所を回り、名木の選考委員長を務めた須田文男さんから、樹齢などの説明を受けながら見学。好天にも恵まれ、参加者からは感嘆の声も聞かれました。また、和琴半島の紅葉や川湯温泉のアカエゾマツの森の散策も楽しみました。

10月1~31日

### フォトコンテスト入賞作品で弟子屈の魅力再発見 川湯エコミュージアムセンターの企画展



弟子屈にこんなところがある

川湯エコミュージアムセンターの2階ギャラリーで10月1~31日、第6回弟子屈フォトコンテスト入賞作品展の巡回展が行われました。

一般の部は応募総数287点から選ばれた14点、こどもの部(中学生以下)は103点から選ばれた13点が展示されました。よく知られた景勝地だけではなく、身近にある植物や動物の姿を被写体とした作品が並んだため、来場者の皆さんにとっては弟子屈の新たな魅力を発見する機会にもなったようです。

10月1日

### 屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会 摩周岳登山道で今年度2回目のササ刈り



手際よく作業を進める皆さん

川湯エコミュージアムセンターを運営している屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会(会長・徳永町長)を中心とした関係機関の皆さんが10月1日、摩周岳登山道のササ刈りを行いました。

毎年、初夏と秋に一度ずつ行っていて、今回は登山道入り口から山頂手前までの約7キロの間で実施。弟子屈町森林組合の皆さんが機械でササや伸びきった草などを刈った後、参加者18人が4グループに分かれ、熊手を使って登山道の中央部へと集めていきました。登山道にかかっていた支障枝を切る作業も行われ、歩きやすい登山道となりました。

10月21日

### 来年の出来上がりが楽しみ ワイン醸造用ブドウを収穫



ワイン醸造用ブドウの収穫が10月21日、町民農園などで行われました。

町では2009年から、ワイン用ブドウの栽培を行っています。新しい特産品としてワインを作るため、十勝ワインで有名な池田町の協力を得ながら、寒冷地に適した「山幸」という品種、約800本を栽培。昨年収穫したブドウで、今年は初の弟子屈産ワインが誕生しました。今回は約300キロと、昨年の2倍以上のブドウを収穫。糖度も平均20度以上と醸造用としては上出来で、来年の秋、弟子屈産ワインとして販売を予定しています。

地域おこし協力隊も収穫のお手伝い

10月21日

### 地域の食材への理解を深めよう 「くしろふるさと愛食月間」で地産地消の給食



A5ランクの摩周ビーフに舌鼓

釧路管内の食材を生かした学校給食が10月21・22の両日、町内小・中学校で提供されました。

釧路管内町村会で取り組む、活力ある農畜産業プロジェクトの一環です。10月を「くしろふるさと愛食月間」とし、地域の特色を生かした学校給食を通して地産地消や食育の向上を図ることが目的。21日は弟子屈町地域ブランド化推進実行委員会が提供した摩周ビーフを使った丼、弟子屈産大根サラダ、弟子屈産牛乳、22日は釧路産サンマの漬け焼きと弟子屈産野菜の肉じゃがで、子どもたちがおいしそうに味わっていました。

10月3日

### マチの新しい特産品 赤ワインをベースに 摩周酒屋くらぶが新しいカクテルを考案



カクテルのレシピを紹介

摩周ラムネ、摩周ハイボール、白つつじドリンクを発表してきた「摩周酒屋くらぶ(金子高志代表)」が10月3日、秋・冬に向けて新たに創作したカクテルのレシピ紹介と試飲会を行い、飲食店関係者などが集まりました。

新しいカクテル「摩周の情熱」は、赤ワインをベースにオレンジジュースと巨峰シロップを合わせ、女性でも飲みやすい味となっています。また、10月31日まで行われた摩周湖観光協会(木暮敏男会長)の「紅葉ご当地グルメキャンペーン2015」のメニュー試食会も同時に開催。10月18日まで川湯温泉街を無料で周遊した紅葉馬車のPRも行いました。

10月3日

### 楽しいポンポン山登山を パークボランティア連絡会が林道整備



力を合わせて倒木を撤去

川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会

長)の皆さんが10月3日、根釧西部森林管理署川湯森林事務所の皆さんと協力して、ポンポン山(仁伏)へ続く林道の整備作業を行いました。林道利用時に支障となる倒木や折れ枝、腐朽木などを撤去したものです。9人が参加し、2時間ほどかけて丁寧な作業を行いました。